

SASUE LIBRARY  
町立  
**指江図書館**  
TEL0996-88-6500



はるですよ

柴田 晋吾 著

山、海、川、いろんな場所に目を向けて、季節のおとずれを子どもたちと一緒に見つけてみませんか。

TAKANOSU LIBRARY  
町立  
**鷹巣図書館**  
TEL0996-86-1111



いろはのかるた奉行

長谷川 義史 作

正しい「いろはかるた」と、作者が考えた新しい「いろはかるた」。2つが同じページにならないで、くらべっこで読めます。

町立図書館おすすめ  
**新刊紹介**

図書館においてある最新本の中からおすすめのことをピックアップ。バラエティに富んだ新刊をご紹介します。

Pick Up New publication

長島  
**文芸**

Nagashima Bungai  
ながしまぶんげい

明神俳句会

祝辞受く新成人の膝の嬰  
父の忌や梅満開の庭を掃く  
窓辺より見送る鶴の無事祈る  
引く鶴やまつ島越えて灘越えて  
軽やかに交す挨拶水温む  
歩きつつ交す挨拶風光る  
落椿つなきて母の吾に孫に  
なつかしき母の背中や流れ星

筑前 初市  
山寄加代子  
大堂 早苗  
淵脇 護  
関 佳代美  
迫口 君代  
二階堂妙子  
中橋 藤七

長島短歌会

目覚むれば潮騒荒く対岸の灯りかすめて雪の降り  
をり  
終戦前布団背負ひて亡友は征きぬ従軍者看護婦島  
崎和子  
若くして逝きたる友の通夜の場に堪へて唱ふ追弔  
御和讃  
見はるかす不知火海の空青しわが上空に鶴鳴きて  
去る  
凍てつきし空に向かひてわが屋根の鴉啼く声冬空  
に満つ  
庭先の枇杷の若木に小鳥群れ蜜を吸ひをり小枝揺  
れつつ  
雪の朝窪みて残る足跡は我を氣遣ふ亡夫と思ほゆ  
朝夕に牛に声かけ草やれど懐ひてくれぬと息子は  
眩きぬ

浜田美代子  
浜畑 松枝  
林 ヒロ  
本田 幸子  
松元 睦子  
町田キクエ  
吉田 映子  
市尾 操

創生短歌会

海岸の灯りかすめて降る雪がひと夜明ければ島山  
つつむ  
岩下 ち江  
朝日差す海おお青と風ぐ朝に波筋立てつつ漁船ら  
出てゆく  
岩下 房代  
古古米を捨てるにはあらぬ奥深き濁酒へ変ゆる術  
を学びぬ  
米尾 和子  
節分と旧正月が重なりて嫁が手作りの蕎麦も寿司  
も美味し  
坂之下典子  
喜寿祝ひ吾娘よりの花束抱けどもわが空白の胸は  
埋まらず  
中山タマエ

一般作品

近寄るを規制されたる泥の田の鶴が吹雪の向こう  
に見ゆる  
竹之内重信  
家中に手摺りをつけてもらいたりあともう少し生  
きんがために  
野村 益信  
あおの海の彼方にあると懐かしむ西方浄土は夕や  
け小やけ  
石原百合子  
川土手に刈草焼きし跡黒く点点と見ゆ橋の上より  
宮元 司  
回覧板届けに来ればお茶の間の国会中継猫が見て  
おり  
村上 義彦  
耕運機タイヤ模様をたつぷりと転写しながら道を  
横切る  
山下 学  
明日また食べれば良いと夫の言う小鍋半分の煮物  
残りて  
大塚 洋子

「短歌」  
牛さえも出たり来るなり魂しあり大きな声でおる  
ぶなるかな  
町田 末則  
我れ友よ生き甲斐なのよ牛飼は二度と逢ない売れ  
行く成り  
町田 末則  
「俳句」  
紅梅や哭声乍ら聴く「フランク永井」宗方 正喜